



進藤実優 (ピアノ)

© 井村重人



中川優芽花 (ピアノ)

©Susanne Diesner



角田鋼亮 (指揮)

©Makoto Kamiya

MORI NO HALL 21 CLASSICS vol.8

ショパンコンクールで輝いたピアニストたち



管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団

Program

モーツァルト

歌劇「フィガロの結婚」序曲 K.492

ショパン

ピアノ協奏曲第1番ホ短調 Op.11

ピアノ：進藤実優

ショパン

ピアノ協奏曲第2番ヘ短調 Op.21

ピアノ：中川優芽花

2026年4月26日(日)

松戸・森のホール21 大ホール 開演15:00 / 開場14:00

京成松戸線「八柱駅」、JR武蔵野線「新八柱駅」下車

S席：7,500円 A席：6,000円 B席：4,500円 C席：3,500円(税込)

(ピノ・メイト会員料金：各席種とも 500円割引)

一般発売日：2026年1月17日(土) ピノ・メイト会員先行発売：2026年1月10日(土)

主催：(公財)松戸市文化振興財団 共催：松戸市、松戸市教育委員会 協力：(有)ユニバース

※未就学児入場不可・おひとり様4枚まで・車椅子席をご希望の方は森のホール21チケットセンターにお問い合わせください。
事前予約で有料託児あり (株)マザーズ 0120-788-222・森のホール21駐車場は大変混雑いたします。電車・バスをご利用下さい。

※開催予定の公演を中止する場合がございます。ホームページなどで最新情報のご確認をお願いいたします。

チケット取り扱い	森のホール21 チケットセンター 047-384-3331		
チケットぴあ	https://t.pia.jp/	セブンイレブン店頭で購入可能 (Pコード 316-455)	イープラス https://eplus.jp/
(有)ユニバース	047-349-5323		CNまつど 047-330-1878

お問合せ：森のホール21チケットセンター 047-384-3331 10:00~19:00 / 月曜休館 (祝祭日の場合は翌平日)

MORINO HALL 21 CLASSICS vol.8

ショパンコンクールで輝いたピアニストたち

海外で研鑽を積み権威あるコンクールで優勝した中川優芽花と、多数の受賞歴を持ち中川とともにショパン国際ピアノコンクールを沸かせた進藤実優が、ショパンのピアノ協奏曲で競演します。

Piano

Miyu Shindo

ピアノ：進藤実優



2002年生まれ。愛知県大府市出身。第19回ショパン国際ピアノコンクール（ポーランド）ファイナリスト。第76回ジュネーブ国際音楽コンクール（スイス）セミファイナリスト。第7回ヴィーゴ市国際ピアノコンクール（スペイン）第1位及び聴衆賞受賞。キッシンガー国際ピアノオリンピック（ドイツ）第3位及び聴衆賞受賞。第45回ベティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル銀賞及び聴衆賞受賞。

NHK-FM「リサイタル・パッシオ」、「ベストオブクラシック」、NHK BSP「クラシック倶楽部」等多数のメディアに出演。

これまでに第75回マントン音楽祭（フランス）、第41回霧島国際音楽祭をはじめ、国内外で演奏。また読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、北京中央音楽学院交響楽団、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演。

江副記念リクルート財団第53回奨学生。

2018年よりモスクワ音楽院附属中央音楽学校（ロシア）にて学び、2021年卒業。2022年4月よりハノーファー音楽演劇メディア大学（ドイツ）在籍。

4歳よりピアノを始め、現在アリエ・ヴァルディ氏に師事。またこれまでにヴァレリー・ピアセツキー、杉浦日出夫、二宮裕子、関本昌平、本村久子、細野真由美の各氏にも指導を受ける

Piano

Yumeka Nakagawa

ピアノ：中川優芽花



©Susanne Diezner

ドイツに生まれ育った日本人ピアニスト。2021年、スイスで開催された権威あるクララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝、および聴衆賞ほかもあわせて受賞。またデュッセルドルフで開催されたロベルト・シューマン国際コンクール（2019）、およびイエネー・タカーチ国際コンクール（2018）でも優勝している。2014年にワイマールで開催された「若いピアニストのためのフランツ・リスト国際コンクール」では第2位に入賞。2019年以降ロンドンのウィグモア・ホール、デュッセルドルフのトーンハレ、ワイマールハレ、マリンスキー国際ピアノ・フェスティバルなどで演奏。クリスティアン・ツァハリアス指揮ホーフ交響楽団、ポルト・カーザ・ダ・ムジカ管弦楽団などと共演しているほか、ウィーン・コンツェルトハウス、リンツ・ブルックナーハウスでも演奏している。2025年6月にはハンブルクのマルタ・アルゲリッチ音楽祭に出演。

2001年デュッセルドルフに生まれる。ロベルト・シューマン音楽大学にてバーバラ・シュツェパンスカのもと音楽の教育を受け始め、ロンドンのパーセル音楽院でウィリアム・フォンに学ぶ。2021年よりワイマールのフランツ・リスト音楽大学においてグリゴリー・グルズマン教授に師事している。

2022年3月、クララ・ハスキル国際優勝後初の来日リサイタルは大絶賛を浴び、以後大阪フィル、名古屋フィル、神奈川フィル、東京フィル、読響、兵庫芸術文化センター管、大阪響、都響、アンサンブル金沢といった国内の主要なオーケストラと共演を重ね、行く先々で絶賛されている。

Conductor

Kosuke Tsunoda

指揮：角田鋼亮



©Makoto Kamiya

東海高校卒業後、東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、札幌響、山響、仙台フィル、群響、N響、読響、都響、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、中部フィル、愛知室内オケ、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、広響、九響等と共演している。

2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。2016年「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」、2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。現在、セントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。

New Japan Philharmonic

管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団



©K.Miura

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。

99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕（75～79年）、第2代音楽監督・井上道義（83～88年）、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク（2003～13年）、第4代音楽監督・上岡敏之（16～21年）。ダニエル・ハーディングが Music Partner of NJP（10～16年）、インゴ・メッツマッハーが Conductor in Residence（13～15年）、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ（W.D.O.）音楽監督（2004年～2025年3月）、Music Partner（20～25年3月）を務めた。

受賞歴に三菱信託音楽賞奨励賞、三菱 UFJ 信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。

公式ウェブサイト：www.njp.or.jp

公式 X：@newjapanphil

公式 Facebook：/newjapanphil

公式 Instagram：/newjapanphil